

【様式】

政 務 活 動 一 覧

議員名：浜田一哉

旅行期間	活動日時	活動先			政務活動の 内容	関連領収 書番号
		住所	活動先の名称	対応部局等		
5.25～5.26	5.26 10:00～ 16:00	鳥取市	政務調査会	各執行部	6月定例会に向 けての概要説 明	507
6.30～ 7.1	6.30 19:00～ 21:00	大阪市淀川区 新北野	土佐清水ワ ールド 梅田ギ ャザ阪急店	中原統轄監、遠 藤輝く鳥取創 造本部長、関西 本部長ほか	意見交換会「と っとり牛骨ラ ーメンを世界 へ！」	703
	7.1 10:30～ 18:30	大阪市此花区 夢洲東	大阪・関西万博 鳥取イベント 視察	県担当職員	牛骨ラーメン 出店状況調査 鳥取県ブース ステージイベ ント	703
7.1～7.2	7.2 9:30～ 11:00	鳥取市	県庁	議会事務局	県内及び議会 行事等打ち合 わせ	701
9.8～9.9	9.8 13:00～ 14:30、15: 00～16:30	高知市	・高知大学 ・高知県庁 ・春野漁港	・物部キャン パス深田教授 ・担当職員 ・合同会社シ ーベジタブル	・産業として の養殖業の 展望	913
	9.9 9:30～ 11:00				・女性・若者 活躍 ・シーベジタ ブルの事業 概要	914 915 916
9.13～9.14	9.14 9:00～ 12:00	倉吉市	手話パフォー マンス甲子園	県担当職員	高校生による 手話全国大会 に出席	905
9.18～9.19	9.19 9:30～ 14:00～	鳥取市 鳥取市民体育 館	県庁 国民・障がい者 スポーツ大会	議会事務局 県スポーツ振 興局	打ち合わせ 鳥取県選手団 結団式	906
10.9～10.10	10.9 11:30～ 20:30	東京都	総理官邸 内閣府 参議院議員会 館	石破総理、赤澤 経済再生担当 大臣、青木内閣 官房副長官、出 川、藤井、舞立 参議院議員	意見交換、 要望書の提出	1002 1003 1006
	10.10 10:00～ 11:00		ルポール麹町 領土・主権展示 館			1007 1004 1005
10.22～10.23	10.22 11:40～	東京都	砂防会館 道路局	金子国土交通 大臣、各道路局	中海・宍道湖8 の字ルート整	1010 1011

	16:00 10.23 10:00～ 12:00	東京都	内閣府、参議院 会館 岡山鳥取新橋 館	職員、地元選出 国会議員 県東京事務所	備促進総決起 大会参加。 道路局及び地 元選出国会議 員へ要望活動 館内視察	1012 1013 1014 1015
11.6～11.7	11.6 14:00～ 16:00 11.7 10:30～ 12:00	東京都	東京ビッグサ イト 全国町村会館2 階ホール	各メーカース タッフ 国土交通省、地 元選出国会議 員、ネクスコ西 日本他	ジャパンモビ リティショー 2025 視察 中国横断道岡 山米子線整備 促進総決起大 会参加	1102 1103 1104 1105 1106 1107
11.14	12:00～ 15:00	境港市 夢みなとタワ ー 境夢みなとタ ーミナル	自衛隊フェス in 境港	自衛隊鳥取地 方協力本部	歓迎レセプシ ョン及び護衛 艦・潜水艦特別 公開	1110
12.14	11:00～ 13:30 14:30～ 16:00	米子市	米子駐屯地創 設 75 周年記念 行事 藤井一博意見 交換会	陸上自衛隊米 子駐屯地 藤井一博参議 院議員	記念式典及び 祝賀会 国政報告会及 び意見交換会	1205 1206
1.16	13:30～ 15:00	境港市	航空自衛隊美 保基地	航空自衛隊美 保基地 富崎司 令他	賀詞交歓会参 加	106

- ・ 交通費（JR 等運賃、タクシー代、駐車場代）、宿泊費、会議等への参加費及び会議の開催経費（会場代、講師謝金等）に政務活動費を充当する場合に記載すること。
- ・ 移動日等も含め政務活動が複数日に渡る場合は、移動日等を含めた「旅行期間」と実際の政務活動を行った「活動日時」を記載すること。なお、旅行期間が1日である場合は、旅行期間欄は空欄とし、活動日時欄の時間は記載不要とする。
- ・ 県外及び国外での政務活動については、別途「活動報告（県外・国外）」を提出すること。

活 動 報 告（県外・国外）

議員名： 浜田 一哉

活 動 事 項	大阪・関西万博 鳥取県イベント
活 動 年 月 日	6 月 30 日～7 月 1 日
場 所	土佐清水ワールド 梅田ギャザ阪急店（大阪市淀川区新北野） 大阪・関西万博（大阪市此花区夢洲東）
活動の相手方	中原統轄監、遠藤輝く鳥取創造本部長、森本関西本部本部長他
活 動 の 目 的	① 意見交換会 テーマ：とっとり牛骨ラーメンを世界へ！ ② 大阪・関西万博視察
活 動 の 内 容	① 万博の状況について及びORA 外食パビリオンにも出展されている牛骨ラーメンの反響や可能性について ② 大阪・関西万博 鳥取県イベント「今日は一日鳥取県～まんが王国ととりの魅力～」視察（牛骨ラーメン出店状況調査、関西パビリオン鳥取県ブース、EXPO ホール：シャインハットにおけるステージイベント第1部、第2部）
活 動 の 結 果 等	① ラーメン議連有志 22 名と中原統轄監ほか県職員に、米子高島屋森社長にも加わり、牛骨ラーメンの今後の展望や展開、可能性について意見交換を行った。博覧会での評判は上々であり、全国的にも珍しい牛骨ラーメンの魅力を発信できているとの報告があった。森社長からは、新たに開発した牛骨×牛乳出汁の「ぎゅうぎゅうラーメン」をネット販売による全国展開の紹介があった。県としても、食パラダイスを中心に「牛骨ラーメン」を全国発信していくべきであると考えた。 ② とっとりリアルパビリオンでは、リアルな鳥取県の観光名所を魅力的な映像を通して表現できていた。 ステージイベントでは、高城牛追掛節・淀江さんこ節や因幡の傘踊りの郷土芸能が実演され、また声優による「鬼太郎誕生」、数多くの名探偵コナンの主題歌を歌っている倉木麻衣コンサートなど場内は満席で大いに盛り上がった。 会場での盛り上がりは確かなものだが、実際に本県への誘客について、どのくらいの効果があったのか今後調査の必要がある。 また、会場は全てキャッシュレス決済となっており、当初は多少不便さを感じたが結果としては会計の際に長蛇の列が並ぶことなく、効率的な手法であると感じた。
関連領収書番号	703

活 動 報 告（県外・国外）

議員名： 浜田一哉

活 動 事 項	「鳥取県の水産業の発展を考える会」視察
活 動 年 月 日	令和7年9月8日（月）～9日（火）
場 所	高知大学物部キャンパス、高知県庁、合同会社シーベジタブル
活動の相手方	深田陽久教授、県担当職員、 高知エリアマネージャー
活 動 の 目 的	・産業としての養殖業の将来展望について ・水産業における女性・若者の活躍推進について ・磯焼け対策としての藻場再生について、陸上・海上養殖の事業効果や課題について
活 動 の 内 容	・世界、日本の養殖の現状及び飼料確保・開発、魚病予防、効率的な養殖システムの開発等について ・高知の水産女子会の立ち上げや取組等について ・シーベジタブルの事業概要と陸上海藻養殖施設の現地視察
活動の結果等	・現在の養殖生産量は、中国を中心に全世界の捕獲型漁獲量の半数以上を占めており、対してわが国では2割ほどに過ぎない。また、世界の主流は内水面に対して海面養殖が主流になっている。漁獲量も減少傾向にある。国は資源の減少や安定的な資源確保を唱え養殖の促進を図っているが、進捗はままならない状況となっている。ネックとなっているのは、主に初期投資の負担や安定的な飼料及び天然魚の資源確保、燃油の高騰による生産コストの増大等があげられる。今後真に養殖拡大に向けるには、大手企業の参入を待つだけでなく、国家的なプロジェクトを立ち上げるなど、より効率的な養殖技術に向けた研究はもとより、さらなる産学官連携の強化や施設立ち上げの支援の拡充、商品開発、諸外国への販売強化等、多角的な取り組みが必須と考える。 ・シーベジタブルは、内水面中心で「スジアオノリ」の養殖に取り組まれており、非常に高い可能性を感じた。全国的に海水の高温化が進む中、ノリの養殖が苦戦を強いられている。アオノリは焼きそばやお好み焼きを思い出すが、現在鳥取県栽培漁業センターも青谷漁港で民間と取組んでいる現状がある。2～3週間ほどで出荷できるという効率性も高い。今後、商品開発や販路拡大によって大いに可能性があるのではないかと感じた。今後も調査また議会において提案をしたい。
関連領収書番号	913、914、915、916

活 動 報 告 (県外・国外)

議員名： 浜田一哉

活 動 事 項	鳥取県議会自由民主党 国要望、領土・主権展示館視察
活 動 年 月 日	令和7年10月9日～10日
場 所	総理官邸、内閣府、参議院会館、ホテルルポール麴町、領土・主権展示館
活動の相手方	石破総理、赤澤大臣、青木、出川、藤井、舞立参議院議員、石野館長
活 動 の 目 的	国に対する要望書の提出及び意見交換する。 領土・主権展示館視察及び意見交換
活 動 の 内 容	要望書の手渡し及びその内容について説明し意見交換会を行う。 領土・主権展示館 石野貢三館長にわが国が抱える領土問題の歴史、経緯、現状について説明を受け都度質疑を行う。
活動の結果等	鳥取県初となる石破総理誕生を受け、石破総理をはじめとする地元選出国會議員一人ひとりと面談し、鳥取県の抱える諸課題について記載の要望書を提出し、意見交換を行った。 要望事項として以下9項目を提出した。 ・地方創生の更なる推進について ・防災庁の地方拠点設置について ・地方税財源の充実・強化について ・高速道路ネットワークの整備促進と暫定2車線の早期解消 ・「北東アジアゲートウェイ：境港」及び「鳥取港」の機能強化 ・防災・減災、国土強靱化の強力かつ計画的な推進 ・持続的な水田農業に資する新たな水田政策の実施について ・高校無償化に係る財政支援について ・2巡目国民スポーツ大会に関する早期の見直しについて 大変有意義な要望活動となった。その後は地元国會議員との懇談会を開催し国や地方の諸課題について深く議論を交わすことが出来た。国の現状を踏まえつつ本県県政の発展につなげていきたい。 石野館長には、様々な領土問題について大変わかりやすく説明をしていただいた。尖閣諸島や北方領土問題など歴史的な経緯も理解できるが、歴史を認識したうえであるまじき状況について国として主張すべきは粘り強く行動し、早期に解決されるよう求めている。本県においては領土問題はないが、北朝鮮による拉致問題や EEZ 付

	近でのミサイル発射等の問題を抱えている。議会においては条例の制定や現地視察、講演会の開催、要望書の提出等積極的に活動を行っているが、いずれも早期に解決に繋がるよう今後も取り組んでいく。
関連領収書番号	1002、1003、1004、1005、1006、1007

活 動 報 告（県外・国外）

議員名： 浜田一哉

活 動 事 項	中海・宍道湖8の字ルート整備促進総決起大会
活 動 年 月 日	令和7年10月22日～10月23日
場 所	砂防会館、国土交通省、内閣府、参議院会館
活動の相手方	国土交通大臣、道路局、ネクスコ西日本、国土交通省、地元選出国会議員
活 動 の 目 的	中海・宍道湖圏域を結ぶ「8の字ルート」の整備促進に向けた総決起大会に参加 関係省庁、地元選出国会議員への要望活動
活 動 の 内 容	新たに組織された「中海・宍道湖8の字ルート整備推進会議」の会長に上定松江市長が就任し、鳥取島根両県知事同席のもとで鳥取島根両県議会議員や市町村議会議員、関係する市町村長ほか関係職員多数の出席のもとで、総決起大会に出席 道路局への要望書の提出 地元選出国会議員への要望書の提出及び意見交換
活動の結果等	これまでの「中国横断自動車道岡山米子線整備促進期成同盟」の活動に加え、新たに結成された同推進会議の役割は大変重要であり、「8の字ルート」の起点とも言うべき米子一境港間の高規格化を一層現実のものとし、早期の実現に向けた大きな一歩となるものと確信した。今後は地元選出国会議員ともさらに連携し、まずは凍結されたままの高規格道路計画の凍結解除、そして事業化に向けたこれらの取組を推進していかなければならない。
関連領収書番号	1010、1011、1012、1013、1014、1015

活動報告（県外・国外）

議員名： 浜田一哉

活動事項	ジャパンモビリティショー2025 視察、中国横断自動車道岡山米子線（蒜山 IC～境港間）整備促進総決起大会
活動年月日	令和7年11月6日～7日
場所	東京ビッグサイト、全国町村会館 2F ホール
活動の相手方	・各自動車メーカー担当者 ・国土交通省、地元選出国會議員、ネクスコ西日本他
活動の目的	・先端技術を用いたこれからの自動車産業の行方 ・中国横断道自動車岡山米子線の全線 4 車線化及び米子・境港間を結ぶ高規格道路の早期実現を目指す。
活動の内容	・トヨタを中心に視察。各メーカーの今後追求していくコンセプト、特にエネルギーについてどのような方向性で開発しようとしているか着目した。 ・会長である伊木米子市長の挨拶、地元選出国會議員や国土交通省道路局次長の挨拶があり、地元からの意見発表の後に決議文が披露され副道路局長に手渡された。
活動の結果等	今回は東京モーターショーからジャパンモビリティショーへと名称変更され、単に自動車だけでなくロボット、エネルギー、大型ドローン車など次世代モビリティの展示に着目した。トヨタは、世界の各自動車メーカーがEVに転換しようとする中、EV一辺倒ではなくハイブリッド、PHEV、水素燃料電池車を併用する「マルチパスウェイ戦略」を掲げている。道半ばではあるが、EVにのみ傾注することは日本にとって危険な選択ではないかと危惧する。トヨタの展示の中には、3本の水素燃料タンクを使用した小型車があり、実用性の高さを感じた。本県の航空機や自動車部品の製造メーカーを誘致しており、今後の事業拡大につながらないかと可能性に期待する。 今回は、地元企業を代表して三輪境港商工会議所会頭、NX 境港の清水社長から意見発表があった、 現在は、特に朝・夕に国道 431 号に依存度が集中しており、大型のトラックやトレーラーが数多く行きかっており、危険度がさらに増していること。加えてインバウンドの増加や通勤時のラッシュが日常化していることから、高規格道路は地域にとって必要不可欠であることを強く訴えられた。 担当省や来賓、知事からはいずれも石破総理の在職中に道標を！との多くの声上がり、大変に盛り上がった大会となった。
関連領収書番号	1102、1103、1104、1105、1106、1107